



# 職業レディネス・テスト(VRT)



- A検査…職業に対する興味の傾向
- B検査…職業への興味・関心の基礎となる志向性
- C検査…職業に対する自信の傾向

職業レディネス・テストはA、B、Cの3つの検査から構成されています。A検査およびC検査では、アメリカの心理学者J.L.ホランドによって類型化された6つの職業領域(現実的、研究的、芸術的、社会的、企業的、慣習的)への興味度・自信度がわかります。B検査では、基礎的志向性(対情報、対人、対物)への関心度がわかります。また、興味・関心を生かすことのできる具体的な職業例を知ることで、職業探索につなげます。A、B、C検査とも、標準得点としてパーセンタイル順位(例えばA検査では100人を興味の低いほうから並べた場合の順位)が用いられています。



## 現実的職業領域

機械や物体を対象とする具体的で実際的な仕事や活動の領域

建築士、造園師、消防士、航空機整備士 等

## 研究的職業領域

研究や調査のような研究的、探索的な仕事や活動の領域

研究者、システムエンジニア、学芸員、薬剤師 等

Realistic

## 慣習的職業領域

定まった方式や規則、習慣を重視したり、それに従って行うような仕事や活動の領域

一般事務員、経理事務員、行政書士、コンピュータ・プログラマー等

Investigative

## 芸術的職業領域

音楽、美術、文学等を対象とするような仕事や活動の領域

イラストレーター、WEBデザイナー、演出家、作曲家 等

Artistic

## 企業的職業領域

企画・立案したり、組織の運営や経営等の仕事や活動の領域

営業部員、マーケット・リサーチャー、アナウンサー、新聞記者 等

## 社会的職業領域

人と接したり、人に奉仕したりする仕事や活動の領域

介護福祉士、看護師、教師、カウンセラー 等

Enterprising

Social



## で測定する6つの基礎的志向性

### D 対情報志向

各種の知識、情報、概念などを取り扱うことに対する志向性

- D1 情報を集める
- D2 好奇心を満たす
- D3 情報を活用する

### P 対人志向

主として人に直接かかわっていくような活動に対する志向性

- P1 自分を表現する
- P2 みんなと行動する
- P3 人の役に立つ

### T 対物志向

直接、機械や道具、装置などのいわゆる物を取り扱うことに対する志向性

- T1 物をつくる
- T2 自然に親しむ